



茅新町長による 町政がスタート!

6月の愛川町長選挙で初当選した茅^{かや} 大夢^{ひろむ}町長は、6月29日の朝、町民や町職員などの出迎えを受けながら初登庁し、4年間の任期のスタートを切りました。

町政の舵取りは小野澤前町長から、茅新町長にバトンタッチされました。

問 政策秘書課 秘書広報班 ☎(内線)3212

茅町長就任式



就任式での茅町長あいさつ

6月29日に町役場で町長就任式が行われ、約120人の町幹部職員らを前に茅町長は、「これからの愛川町には、待ったなしの案件が山積している。私一人の力ではなく、行政経験豊富な職員の皆さんの知恵と経験を結集し、力を合わせて愛川町をさらに発展させていきたい。町民の皆さんに『愛川町に住んで良かった』と実感していただけるまちづくりに向け、誠心誠意取り組んでいく」と抱負を語りました。

また、職員には、「皆さんが『愛川町役場で働いて良かった』『これからも働きたい』と思える職場環境をつくっていききたい。遠慮することなく、忌憚のない意見を聞かせてほしい。風通しの良い職場を築き、みんなの力で愛川町をより良いまちへ発展させていきましょう」と訓辞しました。

小野澤前町長が退任

6月26日に町役場で小野澤 豊前町長の退任式が行われ、町職員約150人が出席しました。

退任式で小野澤前町長は、「町長として3期12年、職員時代を含め半世紀にわたり地方行政に携わることができた。掲げた公約や数々の施策を進めることができたのは、町民の皆さんの幸せを願い、職員の皆さんと力を合わせて、人口減少対策や子育て支援、防災、そして新型コロナウイルス感染症への対応など、幾多の困難を乗り越えてきたから。『誰一人取り残さないまちづくり』を信条に全力を尽くしてきた12年間だった。これからも和をもって町の発展に力を尽くしてほしい。本当に長い間ありがとうございました」とあいさつしました。

退任式後には役場庁舎1階ホールで退任セレモニーが行われ、町民や町職員など約400人による花道の中、多くの拍手に送られながら庁舎を後にしました。



町民や町職員に見送られる小野澤前町長

日本赤十字社 金色有功章を受章

問 福祉支援課 地域福祉班
☎(内線)3352

長年にわたり日本赤十字社愛川町分区長として赤十字事業の進展に尽力した功績により、小野澤豊前町長が日本赤十字社金色有功章を受章し、7月16日に茅町長より伝達が行われました。



小野澤前町長と茅町長